

身体を動かす

新緑が鮮やかで、ツツジの色合いとマッチして過ごしやすい季節になりました。いつしか時が過ぎて便利が幸せを運んできて便利な道具を手に入れば素敵な暮らしを営んで行けると思っていましたが、何だか違うと感じるようになりました。少くも不便を楽しむことが大事だと・・・

身体を動かさず、頭を使う生活が多くなった世の中で、手をかけて磨きをかけて思いをこめて身体を動かして生活する。彩花はこれを実践しています。身体を動かしてお客様に喜んで頂いています。この時代に改めてこの言葉を胸に行きたいと思う皐月の候です。



色々なところで承継の声が

彩花を創業して28年になりますが長いお付き合いのお客様がたくさんあります。その中で、創業時に契約をさせて頂いた歯科クリニックがあります。院長先生が自分と同じ年齢で、7月と月も同じで血液型も同じです。最近知ったことですが母親の名前も同じでビックリしました、これだけ一致条件が合うと話が進みます。初対面から性格的に合うと思ってお付き合いさせて頂いています。いつも「彩花新聞」を持って訪問していますが、院長先生が診察室から出てこられて、「歯科クリニックを承継しようと思っているので、今度、次の院長を紹介するから」と言われました。承継の理由を伺うと、「昔のように身体がついていかない」からと・・・

お互いにそういう年齢になったと改めて思いました。歳には勝てません・・・

彩花は息子が2人いて、社長業を承継して、マネージャーとして会社をサポートしていますが、クリニックなどは特殊な業種なので難しいのかもしれない。

最近、色々な歯科医院やクリニックなど、承継の話を良く聞くようになりました、彩花も創業から28年が経ち、次の時代に承継が出来ることに感謝でいっぱいです。



人を動かす

リーダーとして人を動かすのは難しいことです。

ひとりで仕事をしていれば、誰にも気を使わず楽ですが、成長がなく仕事の効率は上がりません。

人と人が繋がって仕事は成り立つのです。

リーダーは、相手がどういう人なのか理解することで人を動かせるようになります。

相手にやりがいとモチベーションを与えることで良い仕事出来るように繋がっていくのです、

仕事とはつくるものであって、人から与えられるものではありません。現場の状況を把握し、作業がやりやすくなるよう人を配置し指示する。

リーダーとしてやるべきことはまず、笑顔で対応し、人の良い面を探す習慣をつけることです。

昔の「職人」さんは、俺がやっている姿を見て覚えろと言った教えでしたが、今はそんな時代ではありません。

現場の情報を確認して、顧客台帳を

お互いにチェックして情報交換して

一番いい環境で仕事に向かう。

この環境を整える役割が

リーダーの仕事です



ゴミの片付け

最近、ゴミの片付け(不用品処分)の依頼が良く来るようになりました。今まで我社でやっていないからと断っていましたが、不用品回収の業者さんを紹介して頂き、繋がりが出来ました。

その依頼した業者さんがとても感じが良く、凄くキレイに処理してくれています。

お客様にも凄く喜んで頂き、お役に立ち嬉しい限りです。

1ヵ月に4件の依頼があり、部門以外の売上が増えています。お客様に業者さんを紹介して、お客様からも業者さんからも喜ばれる仕事につながっています。

それにしても、ゴミに関して悩みを持っていらっしゃるお客様が多いことにはビックリです。

ゴミは、気をつけてないとどんどん溜まって、気が付くと手に負えなくなります。

これからの環境問題を考えると、この仕事が重要な課題になってくるのではないかと思います。

【くらしサポート彩花】で

不用品などのお客様のお困りごとを解決していきたいです。



日本の人口が7割に！？

■目を凝らせば人口問題がチラ見え

このところ国会や政治において少子化の問題が大きく取り上げられています。

4月26日のNHKニュースでも「2070年 日本の総人口が現在の約7割に？」と衝撃的な予測が伝えられました。50年後には日本の人口が8,700万人（31%減）、10人に1人が外国人、65歳以上の高齢者人口比率が38.7%になるという予測です。

こんな数字をつきつけられても多くの人は「ふーん。それがどうしたの？」という感じだと思います。しかしよく気をつけてみると、「人口問題」という氷山の一角が身の周りにチラ見えるのも確かです。例えばコンビニの店員さんの多くが外国人になった、小学校の統廃合がすすんだ、地域の祭りや行事が維持できなくなった等々です。また、単身者や高齢者の世帯急増など家族のありかたが大きく変貌していることを実感する機会が増えているように思います。

■お掃除から見える社会変化

人口減社会のなかで「お掃除」という仕事の意味や位置付けもまた変わりつつあるようです。

高齢者ご夫妻からのハウスクリーニングの注文をよくいただく、外に仕事に出ているので家回りのことができないのでということで女性からの注文が増えた、お掃除のあとの茶話を楽しみにしていただいている方々がおられる等、社会の変化を感じます。30年前40年前だと大家族が多く、「男が働きに出て、女が家を守る」というのが当たり前とされていたことを思い起こすと大きな変化です。

お掃除サービスが求められ、事業として成立していく条件は「人口問題」という大きな流れのなかで、社会や消費者の意識変化として生まれてきているのだと言えます。

またこれから人口減少が進むなかで、お客様の幸福実現、地域の活性化、ひいては社会貢献と、お掃除の役割はますます大きくなっていきそうです。

■心や社会を美しく磨く時代

最近、「ウェルビーイング」という言葉をみかけるようになりました。一人一人の幸福実現に向け、心身、環境、社会など個々人をとりまく状態を良くしていこうという考え方です。

人口減・高齢社会は、どこか不安でマイナスのイメージとなりがちです、そうしたなかで、家庭、職場、クリニック、飲食店等、暮らしの環境が清潔で気持ちのいい状態に保たれていることがとても大切になってくると思います。

経済がスローダウンしていく時代だからこそ、個々の“幸せ”に密着し、「ウェルビーイング」を実現していく仕事これからますます求められていきそうです。

人口減をマイナスととらえるのではなく、心や社会を美しく磨いていく時代になったのだとプラスに考えていきたいと思います。（らく）

